土が我が国の固有の領土であることなど，我が国の領域をめぐる問題も取り上げるようにすること。その際，尖閣諸島については我が国の固有の領土であり，領土問題は存在しないことも扱うこと。

イ　内容のＢについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(ｱ) (1)については，次のとおり取り扱うこと。

現代世界が自然，政治，経済，文化などの指標によって様々に地域区分できることに着目し，それらを比較対照することによって，地域の概念，地域区分の意義などを理解するようにすること。

(ｲ) (2)については，次のとおり取り扱うこと。

ここで取り上げる地域は，中学校社会科地理的分野の「世界の諸地域」の学習における主に州を単位とする取り上げ方とは異なり，(1)で学習した地域区分を踏まえるとともに，様々な規模の地域を世界全体から偏りなく取り上げるようにすること。また，取り上げた地域の多様な事象を項目ごとに整理して考察する地誌，取り上げた地域の特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する地誌，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌の考察方法を用いて学習できるよう工夫すること。

ウ　内容のＣについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(ｱ) (1)については，次のとおり取り扱うこと。

この科目のまとめとして位置付けること。

「我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方」については，国際連合における持続可能な開発のための取組などを参考に，生徒の興味・関心などを踏まえて適切な事例を選定し，学習できるよう工夫すること。その際，「我が国が抱える地理的な諸課題」に関しては，それぞれの課題が相互に関連し合うとともに，それらの現状や要因の分析，解決の方向性については，複数の立場や意見があることに留意すること。

第３　歴史総合

１　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養（かんよう）される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

２　内　容

Ａ　歴史の扉

(1) 歴史と私たち

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，アで取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現すること。

(2) 歴史の特質と資料

日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物，文書，図像などの資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現すること。